

教育委員会とも連携し児童生徒への  
啓発活動に努める。



八尾春雄 議員

## 課外活動における 体罰の中止を

### 体罰の中止を

これまで教師による児童生徒への体罰にはどのように対応してきたのか。体罰は教育の否定であり人格の否定である。

朝7時30分からの受け入れを検討してほしい、また、厚生労働省は1か所に40名までが望ましいとしている。男女共同参画をめざす町として働く女性に応援をしてほしい。

平岡町長 指導員の出勤体制を早出・遅出に組み替え事前の申し出があれば7時30分から受け入れる方向で進める。多くの団体では3年生までだが本町では6年生までを対象としている。

## 脱法ハーブやドーフラッグに関する啓発実施を

体を蝕み家庭を崩壊させ未来を奪うこの問題を学校教育で取り上げてほしい。

安田教育長 脱法ハーブは麻薬や覚せい剤につながる入門薬物とも言われ、体への影響が未確認のものも多く治療法も確立されていない。県担当部署や警察とも連絡することや



# 委員会の窓

## 総務文教委員会

議案2件

## ソ広場条例の制定について

3月議会に上程された議案は、総務文教委員会、厚生建設委員会及び予算審査特別委員会に付託された19件について審査を行いました。その主な審査内容と結果をお知らせします。

## 厚生建設委員会

議案8件

## 議案第2号 広陵町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

## 議案第3号 広陵町水道事業給水条例の一部を改正する」とについて

質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

決しました。

## 議案第5号 平成24年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

全員一致で可決すべきものと決しました。

## 議案第4号 平成24年度広陵町一般会計補正予算（第4号）

全員一致で可決すべきものと決しました。